

横浜市中小企業振興基本条例に基づく 令和2年度の取組状況について

1 物品及び委託契約における市内中小企業者の受注機会の増大について

(1) 令和2年度の受注機会増大に向けた取組

物品の調達及び委託業務の発注にあたっては、条例の趣旨を踏まえて、市内経済の活性化の観点から、市内事業者への優先発注を基本方針としてきました。

令和2年度の監査事務局における契約実績は、物品契約が14件で金額385千円、委託契約が1件で金額59千円となっており、いずれも全て市内中小企業者に発注しています。

(2) 今後の受注機会増大に向けた取組の方向性

発注事務において、今後も対象事業者の所在区分及び企業規模の確認を徹底し、引き続き市内中小企業者への優先発注に努めます。

市内中小企業者への発注状況（監査事務局契約分）

区分	契約実績（単独随意契約及び大規模契約を除く）							単独随意契約及び大規模契約の合計			
	市内中小企業契約実績						件数	金額	件数	金額	
	件数	構成比率	前年度からの増減	金額	構成比率	前年度からの増減					
令和2年度	工事	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0	0	0
	物品	14	100.0	0.0	385	100.0	0.0	14	385	10	262
	委託	1	100.0	0.0	59	100.0	0.0	1	59	0	0
	合計	15	100.0	0.0	445	100.0	0.0	15	445	10	262
令和元年度	工事	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0	0	0
	物品	13	100.0	0.0	478	100.0	0.0	13	478	45	918
	委託	2	100.0	0.0	177	100.0	0.0	2	177	0	0
	合計	15	100.0	0.0	655	100.0	0.0	15	655	45	918

※ 契約実績金額については、変更契約に伴う増減を含んだものとなっています。

※ 「構成比率」はそれぞれの数値（件数又は金額）が契約実績（単独随意契約及び大規模契約を除く）に占める割合です。

※ 各項目で四捨五入をしているため、合計値と一致しない場合があります。

※ 「契約実績（単独随意契約及び大規模契約を除く）」は、経済産業省が行っている「官公需契約実績額等の調査」と同様に、競争の余地がない「単独随意契約」及び中小企業者の参入の余地が少なく入札参加者を市内事業者に限定できない「大規模契約（政府調達協定（WTO）対象契約）」を除いたものです。

【参考資料】

市内中小企業者への発注状況（財政局契約部契約分）

区分	契約実績（単独随意契約及び大規模契約を除く）								単独随意契約及び大規模契約の合計		
	市内中小企業契約実績						件数	金額	件数	金額	
	件数	構成比率	前年度からの増減	金額	構成比率	前年度からの増減					
件	%	%	千円	%	%	件	千円	件	千円		
令和2年度	工事	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0	0	0
	物品	1	100.0	0.0	300	100.0	0.0	1	300	0	0
	委託	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0	0	0
	合計	1	100.0	0.0	300	100.0	0.0	1	300	0	0
令和元年度	工事	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0	0	0
	物品	1	100.0	0.0	408	100.0	0.0	1	408	0	0
	委託	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0	0	0
	合計	1	100.0	0.0	408	100.0	0.0	1	408	0	0

※ 契約実績金額については、変更契約に伴う増減を含んだものとなっています。

※ 「構成比率」はそれぞれの数値（件数又は金額）が契約実績（単独随意契約及び大規模契約を除く）に占める割合です。

※ 各項目で四捨五入をしているため、合計値と一致しない場合があります。

※ 「契約実績（単独随意契約及び大規模契約を除く）」は、経済産業省が行っている「官公需契約実績額等の調査」と同様に、競争の余地がない「単独随意契約」及び中小企業者の参入の余地が少なく入札参加者を市内事業者に限定できない「大規模契約（政府調達協定（WTO）対象契約）」を除いたものです。